

特集

special feature

2020年 大学入試改革も見据え、 21世紀型教育が 本格始動！

4月より、アサンプション国際中学校高等学校では英語イマージョン授業、探究科などの「21世紀型教育」を実践する授業が本格的にスタートしました。これらの授業は、皆さんが21世紀をたくましく生き抜き、社会で活躍できる力を身につけるために導入したものです。皆さんぞれぞれの夢や目標を実現し、しあわせな人生を送るために「確かな学力」を身につけることが必要です。そのために知識や技能だけでなく、思考力や判断力、表現力を習得できるよう、文部科学省は2020年の実施を目標に教育改革を推進しており、小中高の教育課程はもちろんのこと、大学入試制度も大きく変わります。

2020年の大学入試改革とは

5月16日(火)に、文部科学省より今後の大学入試制度に関わる「高大接続改革」の進捗状況について報告があり、現在のセンター試験にあたる「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」の全容が見えてきました。

2020年度より、共通テストの「国語」「数学」については、択一式問題だけでなく、記述式問題が3問程度導入されます。「英語」については、現在の「読む」「聞く」の評価軸から、「話す」「書く」が追加さ

高大接続改革 (大学入学者選抜改革)

高大接続改革とは、2020年を目標に進められている教育改革の中でも、生徒の資質や能力を育成し「より主体的・対話的で深い学び」が実現するように、高等学校の教育課程の見直しや学習・指導方法だけでなく、その先の大学入試、大学教育の抜本的改革を見据えて進められているものです。

| 共通テスト | 現行 | 変更点 | 2020(平成32)年度～ |
|-------|--|-----------|--|
| | 択一式問題のみ | 記述式問題の導入 | ○センターが作問、出題、採点する。採点には「民間事業者」を活用。 ○国語:80～120字程度の問題を含め3問程度。数学:数式・問題解決の方略などを問う問題3問程度。 ○2024(平成36)年度から地歴・公民分野や理科分野等でも記述式を導入するため検討。 |
| | 英語「読む」「聞く」のみ | 4技能評価へ転換 | A案 ○共通テストは実施せず、資格・検定試験を活用する。 ○センターが、試験の内容と実施体制を評価し、入学者選抜に適した試験を認定し、試験結果を大学に提供(高3時の2回まで)。 B案 ○共通テストは2023(平成35)年度までは継続して実施する。 ○各大学は、共通テストと検定試験のいずれか、または双方を大学の判断で選択利用。 ○センターが、試験の内容と実施体制を評価し、入学者選抜に適した試験を認定し、試験結果を大学に提供(高3時の2回まで)(A案と共に)。 |
| 個別選抜 | 学力の3要素が評価できていない入試 早期合格による高校生の学習意欲低下 | 新たなルールの設定 | ○AO入試・推薦入試において、小論文、プレゼンテーション、教科・科目に係るテスト、共通テスト等のうち、いずれかの活用を必須化。 ○調査書の記載内容も改善。 ○出願時期をAO入試は8月以降から9月以降に変更。 ○合格発表時期をAO入試は11月以降、推薦入試は12月以降に設定(これまでルールなし)。 |



アサンプション国際
中学校高等学校
校長 江川昭夫

関西初の21世紀型教育機構加盟校

本校は、この4月より「英語イマージョン教育」、「PBL(課題解決型授業)」、「ICT」を推進する「21世紀型教育機構」に香里ヌヴェール学院とともに関西で初めて加盟しました。現在、メンバー校は全国に15校。早くから21世紀型教育を実践・推進すること目的に学校が連携し、研究会など行うために生まれた「21世紀型教育を創る会(21会)」が前身となり、2016年9月に「21世紀型教育機構」として発足しました。

この機構では、新しい教育づくりに挑戦するだけでなく、教育推進状況をチェックできるように「イマージョン率20%、PBL率50%、高次思考率40%」など独自の評価基準を設け、教育の質を保証する仕組みづくりも行っていくようです。本校でも、その評価基準に合わせクオリティの高い教育を実現していきます。

21世紀型教育機構 メンバー校

2017年4月1日現在 ※五十音順

- ・アサンプション国際小中高等学校(大阪)
- ・聖パウロ学園高等学校(東京)
- ・工学院大学附属中学校・高等学校(東京)
- ・東京女子学園中学校高等学校(東京)
- ・香里ヌヴェール学院小中高等学校(大阪)
- ・富士見丘中学校高等学校(東京)
- ・静岡聖光学院中学校・高等学校(静岡)
- ・文化学園大学杉並中学・高等学校(東京)
- ・順天中学校・順天高等学校(東京)
- ・三田国際学園中学校高等学校(東京)
- ・正智深谷高等学校(埼玉)
- ・八雲学園中学校高等学校(東京)
- ・聖徳学園中学校・高等学校(東京)
- ・和洋九段女子中学校高等学校(東京)
- ・聖学院中学校・高等学校(東京)

アサンプション国際の21世紀型教育

21世紀型教育の3本柱となるのが「英語イマージョン教育」「PBL(課題解決)型授業」「ICT」です。本校では、英語重視のAEコース、PBL(課題解決)型授業を主とするAGコース、高校2年から理科系科目も重点的に学べるASコースの3つのコースを新設しました。それぞれ、生徒一人ひとりのニーズに応えるコースになっていますが、これからグローバル時代に必要な「英語力」についてはCEFRを基準とし、各コース学年で目標を設定。これから大学進学にも必要となる、英語4技能(読む、書く、聞く、話す)の習得を目標としています。



中学校の英語イマージョン授業。

この4月からは、ネイティブ教員から、数学や理科などの主要科目を英語で学んだり、教科の枠組みを超えて深い学びを実践する「探究科」という授業が本格的にスタートしました。授業には学習の理解を深めるために、タブレット端末などICTを活用。また、壁一面のホワイトボード、プロジェクターや自由に配置できる机や椅子などが完備された「フューチャールーム」は、グループワークやプレゼンテーション、ディスカッションの場として大いに活用されています。今まで以上に、教室の空気が活気に満ちあふれているように感じ、皆さんの成長に驚かされています。これからも、21世紀型教育を柱として皆さんの学びをサポートしていきたいと思います。



グループワークやプレゼンテーションに最適なフューチャールームでの授業。



6月からiPadが配布されています。